

京都府受託事業 建設業やりがいアップ支援事業
KYOTO建設業5upプロジェクトのご報告
 (期間:2015年11月16日~2016年3月18日)

— ごあいさつ —

京都府が設定した平成27年度建設業やりがいアップ支援事業では、建設業における若手入職者不足解消をめざして、全8回の研修会を開催、延べ653名の参加者を数え、無事終了いたしました。

《100年後も社会を支える建設業》

建設業の役割は、その時代や地域に必要な社会基盤をつくり、適切な維持管理を行い、50年、100年後も安定的に社会や暮らしを支えていくことにあります。

《次世代づくりー若年者と女性に向けて》

次世代への技術継承を目指し、建設業の若年者及び女性を対象に、発信力やコミュニケーション力など五つのスキルアップをテーマにプログラムを設定。活気にあふれやりがいある建設業という、本来の魅力を学び直し、建設業が、安定的に労働力を再生産する産業となることを目指して取り組みました。

◆第1回 12月18日 キックオフ研修会



■キックオフ研修会基調講演

なぜ闘い続けるのか『不屈の心体』
 大畑 大介氏(ラグビー元日本代表)

長年、日本のトライゲッター、エースとして闘い続けた経験や培ってきた思考力、原動力を披露。自身がプロデューサーを務める大学女子ラグビー選手と信頼関係を築ききっかけやコツ、問題点を提示。「成せばなる」と、今まさに共通する課題と向き合う建設業に向けて熱いエールを贈りました。

■オリエンテーション

京都府建設交通部指導検査課
 担当課長 大黒澄人氏

建設業がやりがいある産業であるという値を取り戻すために、建設業に係る人びとが研修会への参加を通じて、課題や展望を共有していく重要性について解説。



■新聞社から見た”建設業の課題と展望”

小椋 隆史氏(日刊建設工業新聞社大阪支社長)
 建設業を取り巻く情勢を新聞社の視点で紹介。また、社会にアピールする写真の撮り方など具体的な魅せ方を提示

■スカイプ動画を使った現場とのテレビ会議

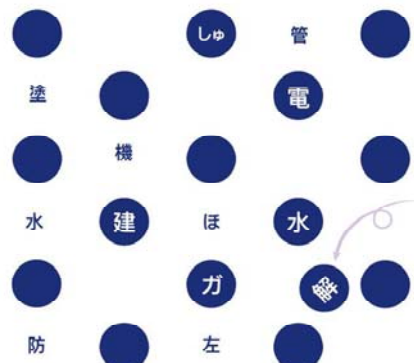
高田 守康氏

(日本マルチメディア・エキップメント株式会社)
 Skype(スカイプ)で現場のライブ中継を実施。長野県栄村の現場事務所技術者、平澤里恵さんと建設業で女性が働くための課題を対談。臨場感あふれる現場の声を会場で体験しました。



KYOTO建設業
5up
 プロジェクト

- イメージ UP!
- スキル UP!
- コミュニケーション力 UP!
- 発信力 UP!
- 人間力 UP!



KYOTO建設業5UPプロジェクト

<http://www.sander.co.jp/5upkyoto/>

Facebook(北大河原バイパスの動画もご覧いただけます)

<https://www.facebook.com/5upkyoto/>

京都府受託事業 建設業やりがいアップ支援事業
建設業5up(ファイブアップ)プロジェクト報告

◆第2回 1月13日 管理職向け研修会

“新ホウレンソウテクニック・仕事振り分け術”

安藤 ゆかり氏(ソーシャルスキル教育株式会社)

■上司から部下への「ホウレンソウ」フォロー方法と効果的な指示を講義。管理者は本来の管理業務に取り組む重要性や、グループディスカッションを通して課題を共有。

現在の課題として多く出た意見は「自分より年上の部下への指示の出し方」。経験がある年上の社員さんとうまくコミュニケーションをとり、業務を進めていく明確な伝え方を学びました。



◆第3回 1月15日 マナースキルアップ研修会

“建設業向けビジネスマナー研修”

田辺 直子氏(キャリアカウンセラー/ビジネスマナー)

■挨拶、電話、書類マナーなど、仕事の基本を習得。参加者の約半数を女性が占める中、立ち姿勢、挨拶やおじぎのしかたなどの基本を習得して実践したり、グループでお互いに意見を出しあうなど、業務にすぐに活かせる実践的な研修会となりました。



”コミュニケーションワークショップ研修”

安藤 ゆかり氏(ソーシャルスキル教育株式会社)

■うまく仕事を進めるためのコミュニケーション人間関係を円滑にする指示の出し方・受け方を学習。言いにくいことを言いにくい相手へ伝え、さわやかに明確に伝える話し方や、自分の強み、弱みを理解し、仕事に活かすための方法を身につけました。



◆第4回 2月4日 建設業の仕事を知る研修会

①午前 社会資本整備の歴史と未来
社会との繋がりと仕事の意義を自覚して生きること、
技術者の幸福についての考察。
山本 剛氏 奥村組土木興業株式会社技術担当部長

②午後 建設業の仕事を知る ワークショップ
建設業の基礎知識、他産業との違いや特徴。入札・指名・
受注から竣工までの基本的な知識と仕事の流れを学習。
前田憲一氏(一社)建設情報化協議会技術顧問

◆第5回 2月9日 現場見学会

— 国道163号北大河原バイパス大河原トンネル —

FieldWork ドローン&CIM活用体験

■南山城村国道163号線北大河原バイパス建設現場見学には、建設業をはじめ、行政や建設関連会社の皆さまに土木を学ぶ高校生も加わり、約100名の方々にお集まりいただきました。ドローンから空撮した大河原トンネルの貴重な全体像と工事現場の様子を見せていただくとともに、各々の取組を教えていただきました。そして、市民生活の中で建設業が果たす役割を改めて認識し、ITの力を借りて、生産性向上につなげる「i-Construction」を浸透させることは急務の課題であると実感いたしました。



◆第6回 2月16日 スキルアップ研修会

”はじめての土木積算、コスト管理の重要性



■はじめての土木積算

株式会社ビーイング
公共工事の積算、設計書の読み方、歩掛・経費について基本を解説。実際にパソコンを使用して積算ソフトを学習。

■建設業におけるコスト管理の重要性ワークショップ

宮脇恵理氏(ミヤシステム株式会社)
建設業におけるコスト管理の重要性とは？
経営者が何を知りたいのか、現場をバックヤードからサポートするために必要なスキルを学びました。



◆京都府建設業構造改善研修(北部・南部)終了

改善構造研修は、北部(宮津市)市1/22、南部(京都市)1/26開催。全2回で約230名の方々にご参加いただき終了致しました。「工事成績評定点を上げる7つのポイント」について降籙達生氏(ハタコンサルタント株式会社代表取締役)による講義。



建設業の若年入職者の確保と、女性活躍の場の整備・拡大を目指し、取組んだ4ヶ月間。短期間ではありましたが、建設業の次世代づくりへの手ごたえを得ることができました。私どもは、これからも様々な形で建設業の皆さまの活動や課題を見つめ、未来づくりのお手伝いをさせていただきます。

京都府建設業やりがいアップ支援事業事務局
京都サンダー株式会社